

大型バスの車両安全対策に関するアンケート

国土交通省自動車局では、本年 3 月に発生した北陸道における高速バス事故を受けて大型バスの安全対策を加速させているところです。このうち、車両の安全対策としては、新車への衝突被害軽減ブレーキ等の義務付けや A S V 装置を搭載する車両に対する補助や税制上の特例措置を講ずるとともに、あわせて、使用過程車に後付け可能な対策について検討を行っています。

今般、使用過程車の安全対策に関するバス事業者の皆様のニーズを調査し、その結果を具体的な対策の検討に生かしていくため、以下の通りアンケートを実施させていただきますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

問 1 運行する高速バスの台数（深夜バスを含み立席を有するものを除く）と、そのうち衝突被害軽減ブレーキ^{*1} 搭載車の台数及び運行中における運転者の疲労状態を測定する機器^{*2} 搭載車の台数を教えてください。

運行する高速バスの台数 () 台
(そのうち衝突被害軽減ブレーキを備えるバスの台数) () 台
(そのうち運行中における運転者の疲労状態を測定する機器を備えるバスの台数及び機器名) 機器名 ()

※1) 衝突被害軽減ブレーキにつきましては、別添資料 1 をご参照下さい。

※2) 運転者の疲労状態を測定する機器につきましては、別添資料 2 をご参照下さい。

問 2 運転者の健康起因による事故を防止し、又はその被害を軽減するために、特に重要と考える対策に○を付けてください。(複数回答可)

- ①健康管理マニュアルの徹底 ()
- ②乗務員の健康管理 ()
- ③適切な運行計画 ()
- ④交替運転者の配置 ()
- ⑤最新の安全装置を搭載した新型車の導入 ()
- ⑥運行中における運転者の疲労状態を測定する機器^{*2} の導入 ()
- ⑦乗務員の適切な運転業務等に対する研修 ()
- ⑧乗客に対する緊急時等における対応マニュアルの徹底 ()
- ⑨その他 ()

問3 衝突被害軽減ブレーキ^{※1}や運行中における運転者の疲労状態を測定する機器^{※2}など、最新の安全装置を搭載した新型車への積極的な車両代替を予定していますか。特に、運行中における運転者の疲労状態を測定する機器の導入を予定されている場合は、当該機器名をご記載下さい。

①はい ()

機器名 ()

②いいえ ()

理由 ()

問4 使用過程車に後付け可能な「非常時対応装置」(以下例)が開発された場合、購入を希望しますか。

(1) 装置の種類 (複数回答可)

①「異常検知・自動警報」(運転者が意識喪失に陥った場合等において、異常を検知し警報を発する装置) ()

②「緊急停止ボタン(手動)」(運転者が意識喪失に陥った場合等において、緊急ボタンを押すことによりブレーキを作動させる装置) ()

③「緊急停止ボタン(手動)」(運転者が意識喪失に陥った場合等において、緊急ボタンを押すことによりブレーキ等を作動させる装置) ※ ()

④「異常検知・自動制御」(運転者が意識喪失に陥った場合等において、異常を検知し、ブレーキ等を作動させる装置) ※ ()

⑤その他装置 (以下に記述) ()

理由 ()

※ 現時点では技術が確立しておらず、実用化の目処は立っていません。

(2) 装置の価格

①値段にかかわらず購入したい ()

- ② 1台あたり200万円程度までであれば購入したい ()
- ③ 1台あたり100万円程度までであれば購入したい ()
- ④ 1台あたり () 万円程度までであれば購入したい ()
- ⑤ 購入しない (以下に理由を記載) ()

理由 ()

問5 使用過程車に対する後付け可能な「緊急停止装置」の性能についてはどの程度を望みますか。

- ① 直ちに停止できるもの ()
- ② ゆっくりでも速度が落ちるもの ()
- ③ ①を希望だが、②でも許容 ()
- ④ その他

()

問6 大型バスの車両の安全対策として何を望みますか。(自由記入)

()

ご協力ありがとうございました。

会社名
